

# 世界史B，日本史B，地理B，政治・経済



## 物理，化学，生物 問題

はじめに，これを読みなさい。

1. この問題冊子は132ページある。ただし，ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史B	1ページから21ページ
日本史B	22ページから37ページ
地理B	38ページから65ページ
政治・経済	66ページから87ページ
物理	88ページから97ページ
化学	98ページから111ページ
生物	112ページから132ページ

2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか，受験票と照合して，確認すること。
3. 問題文の中で，国名，地域名，企業名については略称，通称も用いている。
4. 監督者の指示にしたがい，解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。次に「解答科目マーク欄」にマークし，「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合，または複数の科目にマークされている場合は，この時限の科目は採点対象外とする。
5. 解答は，すべて解答用紙の所定欄にマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 1つの解答欄に，2つ以上マークしないこと。
7. 解答は，必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
8. 訂正する場合は，消しゴムできれいに消し，消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は，絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 解答用紙はすべて回収するので，持ち帰らず，必ず提出すること。ただし，この問題冊子は，必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は，60分である。
12. マーク記入例

良い例	悪い例
	

## 世界史 B

(解答番号 1～50)

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

宗教は、個人には心の安寧や来世への希望をもたらすが、集団の秩序と団結を創り出すという点で古くから権力や国家に支配と収奪の道具とされ、対立や紛争の原因ともなった。

古代エジプトでは、上下エジプトを統一した古王国時代には、太陽神を主神とあがめる宗教が発展し、王はその化身として君臨し、巨大なピラミッドを造営するなど強大な権力をふるった。中王国時代にはナイル川中流域の首都  の守護神が主神として崇拝された。新王国時代には、両者が結びつく形で宗教の展開をみた。また、一時的ではあったが、都を移して宗教改革を断行した王も登場した。

一神教ということでは、シリア南部に王国を建てたヘブライ人が、唯一神との契約のもと、選民思想や救世主の待望という信仰心をもっていたことが知られている。こうした固い信仰心は故国の滅亡と、それに続く強制移住の受難の時代に強められていった。この一神教の民を受難から解放したのは、アケメネス朝ペルシア王国であった。ペルシア人は、 を信仰していたが、王は支配下の諸民族が信仰する宗教に対して寛大であった。

ペルシアの侵攻を撃退したギリシアでは、オリンポスの12神を中心とする多神教が信仰されており、都市国家ごとに守護神を祭っていただけでなく、共通の大祭典や神託によって異民族とギリシア人を区別する意識を強めた。ギリシアの宗教には教義も経典もなかったが、神々は豊かな個性を持ち、喜怒哀楽を人間に働きかけると信じられ、神話と伝承によって後世にまで長く語り継がれた。

ギリシアを征服したローマでは、はじめはギリシアと同様、ユピテルやウェヌスなど多数の神々が信仰されていた。しかし、キリスト教が伝わると、皇帝の大

迫害にもかかわらず社会に浸透していき、4世紀には公認宗教から国教へと昇格した。その結果、ローマは一神教の国家となった。キリスト教は地中海世界や西アジア世界に広まったが、拡大するにつれて内部での矛盾が強まり、宗教公会議<sup>(6)</sup>を開いては対立と分裂を繰り返した。

西ローマ帝国が滅んだ後も、を首都とする東ローマ帝国はキリスト教国家として存続し、一時は地中海世界を再統一するほどの勢力をもった。ビザンツ帝国とも呼ばれるこの国は、西方とは異なる教会体制を保持し、キリスト教<sup>(7)</sup>の伝道と布教を通じて異民族やイスラーム勢力への対応政策を実施した。

西ヨーロッパでは教皇が王国を西ローマ帝国の後継国家として認め、世俗国家との結びつきを強めた。教会は多くの寄進を集め、広大な荘園を持つ一大領主となり、聖職者の腐敗が横行した。11世紀にそうした腐敗を正す改革運動<sup>(8)</sup>がおり、それを背景に皇帝や国王との闘争に勝利した結果、教皇の権力はいつそう強大になった。ビザンツ帝国からの要請に応じて教皇が招集した十字軍は、まさに俗権を凌駕する教権の象徴でもあった。

問1 空欄(ア)にもっとも適切な都市を一つ選びなさい。

- A. アレクサンドリア                      B. テーベ  
C. テル=エル=アマルナ                  D. メンフィス

問2 空欄(イ)の宗教の説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

- A. 拝火教とも言われ、祭祀は拝火壇を中心にしてとりおこなわれた。  
B. 南北朝時代の中国に伝わり、流行して景教とよばれた。  
C. ササン朝ペルシアでは、シャープール1世に厳しく弾圧された。  
D. 世界を善神アーリマンと悪神アフラ=マズダの抗争ととらえた。

問 3 空欄(ウ)の都市の説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

3

- A. もともとは古代のギリシア人が建設した植民市マッサリアであった。
- B. ティベル河畔の港市であり、シルクロードの終着点として知られていた。
- C. 1204年十字軍に占領・略奪された後、ラテン帝国の首都となった。
- D. 1453年オスマン帝国に征服され、現在はトルコ共和国の首都である。

問 4 空欄(エ)の国についての説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

4

- A. カロリング家のクローヴィスは、496年地中海世界で初めてアタナシウス派に改宗した国王であった。
- B. カール＝マルテルの子ピピンは756年イタリアのラヴェンナ地方を寄進し、それによって教皇領が成立した。
- C. 西ヨーロッパを統一したカールは800年教皇レオ3世から帝冠を授けられ、ここに神聖ローマ帝国が成立した。
- D. カール大帝が亡くなった後、834年のメルセン条約と870年のヴェルダン条約で王国は3つに分裂した。

問 5 下線部(1)に関連して、古代エジプト人の来世観についての説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

5

- A. 霊魂不滅の信仰から、遺体はミイラにしてナイル川に流された。
- B. 死者はオシリス神によって、死後の審判を下されると信じられた。
- C. 死者の復活は、救世主メシアによって実現されると信じられた。
- D. 死者復活後の案内書として、「死者の書」が遺体とともに埋葬された。

問 6 下線部(2)に関連して、この改革時代についての記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. この改革を実行した王アメンホテプ 4 世は、自らの名をイクナートンと改めた。
- B. それまでの多神教を廃して、新たにアトンと呼ばれる神のみが崇拝された。
- C. 新たな都では、古い伝統や形式にとらわれない写実的な芸術が花開いた。
- D. この改革を引き継いだツタンカーメンは、ヒッタイトとカデシュで戦い、和約を結んだ。

問 7 下線部(3)に関連して、① 強制移住を行った王、② それから解放した王、の組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| A. ① ネブカドネザル 2 世 | ② キュロス 2 世    |
| B. ① ラメス 2 世     | ② カンビュセス 2 世  |
| C. ① キュロス 2 世    | ② ラメス 2 世     |
| D. ① ネブカドネザル 2 世 | ② カンビュセス 2 世  |
| E. ① ラメス 2 世     | ② ネブカドネザル 2 世 |
| F. ① キュロス 2 世    | ② ダレイオス 1 世   |

問 8 下線部(4)に関連する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. デルフォイは、予言の神アポロンの神託の地として有名であった。
- B. オリンピアでは、4年に一度の祭典で運動競技会が開催された。
- C. オリンピアの祭典期間中は、ポリス間の戦争を休戦することとされた。
- D. オリンピアの祭典は、3世紀末にローマ皇帝の勅令で廃止された。

問 9 下線部(5)に関連して、4世紀初頭にキリスト教を厳しく迫害した皇帝を一人選びなさい。 9

- A. ネロ帝
- B. マクシミアス帝
- C. ディオクレティアヌス帝
- D. ユリアヌス帝

問10 下線部(6)に関連して、キリスト教教義の対立や分裂の説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。 10

- A. 325年のニケーア公会議では、アリウス派はキリストを人間と認めて、三位一体説をとるアタナシウス派と対立した。
- B. ニケーア公会議で異端とされたアリウス派は、ローマ帝国領域外のゲルマン人へ伝道活動を行なうようになった。
- C. 431年のエフェソス公会議では、キリストの神の部分と人の部分を分離するネストリウス派が異端とされて布教や信仰を禁止された。
- D. 451年のカルケドン公会議で異端とされた単性論は、のちにギリシア正教会やロシア正教会に受け継がれてカトリックと対立した。

問11 下線部(7)に関連して、ビザンツ帝国の宗教事情の説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 11

- A. ビザンツ皇帝がギリシア正教会の総主教を任命し教会を支配する、「皇帝教皇主義」と呼ばれる体制であった。
- B. 大型ドームとモザイク画を特徴とするビザンツ様式建築によって、ハギア=ソフィア大聖堂やサン=ヴィターレ聖堂が首都に建立された。
- C. 9世紀に周辺のゲルマン人への布教を進めるため、ギリシア文字をもとにしたキリル文字が考案された。
- D. 聖像崇拝をめぐる論争の結果、726年にビザンツ皇帝レオン10世は聖像禁止令を發布した。

問12 下線部(8)に関連して、次の出来事①②③④を起こった順に並べたものとして、正しいものを一つ選びなさい。

12

① ヴォルムス協約

② カノッサの屈辱

③ クレルモン公会議

④ イギリス王ジョンの破門

A. ③→②→④→①

B. ①→②→③→④

C. ②→①→④→③

D. ①→④→②→③

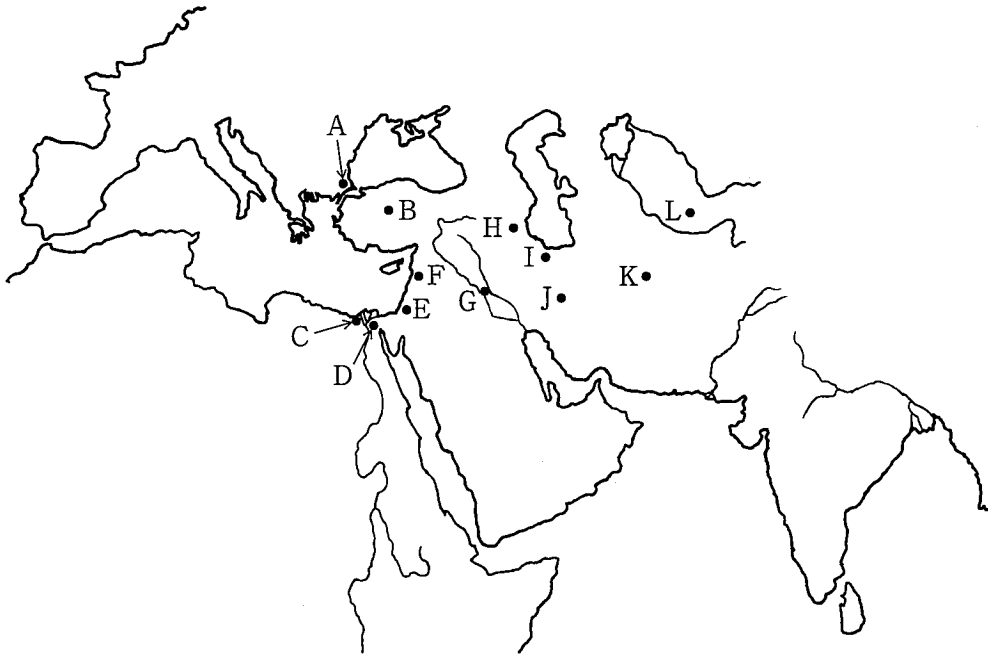
E. ②→③→①→④

F. ③→④→②→①

〔Ⅱ〕 次の文章は、アジア・アフリカ各地に興亡した王朝、およびその首都となった都市について述べたものである。地図は各首都ならびにその王朝に関連する都市の場所を示している。以下の文章を読み地図を見て、下記の問いに答えなさい。

1. イスラーム教徒が建てた史上初のこの王朝は、支配地域を急速に拡大した。  
(1) その首都はかつて  人が商業活動を展開した地域に位置し、古くから  
(2) 東西交通の要地として繁栄した。
2. この王朝は前王朝の奴隷軍人が建国した。エジプト・シリアを支配下におさめ、社会・経済・文化が発展してイスラーム世界における一大勢力となった。  
(3) その首都はイスラーム世界を結ぶ国際貿易の中心地として栄えた。  
(4)
3. この王朝は 16世紀半ばに最盛期を現出し、ヨーロッパ・アジア・アフリカ  
(5) にまたがる版図を獲得した。その首都はローマ帝国以来の歴史を有し、イスラーム世界全体の政治的中心地として繁栄した。  
(6)
4. トルコ＝モンゴル系のこの王朝は、ユーラシア大陸の中央部を覆う広大な地  
(7) 域を領有した。建国者が建設した首都サマルカンドは中央アジアの政治・経済  
(8) ・文化の中心地として繁栄した。
5. この王朝は16世紀後半期に北インドを統一し、南部へ領域を拡大したが、17世紀半ば以降は統治の衰えが顕著になった。何回か首都となったガンジス  
(9) 川の支流に沿う都市には、タージ＝マハルが建設された。  
(10)
6. 18世紀末に成立したトルコ系のこの王朝は、テヘランに首都を定めた。次  
(11) 第に外国勢力が進出し、国内も混乱するなかで、知識人らが近代化改革を求め  
(12) て運動を起こした。しかし、改革は外国の干渉を受け頓挫した。





問 1 空欄(ア)にもっとも適切な語句を一つ選びなさい。 13

- A. アムル      B. フェニキア      C. ベルベル      D. アラム

問 2 下線部(1)の説明としてもっとも適切なものを一つ選びなさい。 14

- A. 支配者としてアラブ人の優越と特権を認めた。  
 B. ピレネー山脈を越えて進撃し、フランク王国軍を破った。  
 C. 王朝の支配に対する抵抗運動のなかからハーシム家が勢力をえて、新たな王朝を建てた。  
 D. 東ゴート王国を滅ぼし、イベリア半島を勢力下に入れた。

問 3 下線部(2)の都市の場所を地図上のA～Lの記号で答えなさい。 15

問 4 下線部(3)の説明としてもっとも適切なものを一つ選びなさい。 16

- A. アズハル学院が創設され、イスラーム神学・法学の最高学府となった。
- B. 十字軍に反撃し、イエルサレムを奪回した。
- C. アッバース朝のカリフを復活させて王朝の権威を高めた。
- D. 軍人に対しイクター制を初めて実施した。

問 5 下線部(4)の都市の場所を地図上のA～Lの記号で答えなさい。 17

問 6 下線部(5)の説明としてもっとも適切なものを一つ選びなさい。 18

- A. ファーティマ朝を滅ぼした。
- B. スレイマン1世はカール5世と連携して西欧諸国に対抗した。
- C. ウィーン包囲を行い西欧諸国に脅威を懐かせた。
- D. トルコマンチャーイ条約によって、ハンガリー王国の大半を獲得した。

問 7 下線部(6)の都市の場所を地図上のA～Lの記号で答えなさい。 19

問 8 下線部(7)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。 20

- A. 小アジアに攻め込みオスマン朝のスルタンを捕虜にした。
- B. 建国者はオゴタイ＝ハン国の豪族であった。
- C. イル＝ハン国の文化を継承し、優れた文学作品や細密画が作られた。
- D. ウズベク族によって滅ぼされた。

問 9 下線部(8)の都市の場所を地図上のA～Lの記号で答えなさい。 21

問10 下線部(9)の説明としてもっとも適切なものを一つ選びなさい。 22

- A. 王朝の衰退が顕著になったのは、アクバル帝の統治期であった。
- B. ジズヤが復活され、ヒンドゥー教徒などの反発を招いた。
- C. イギリスがポンディシェリを獲得し、進出の拠点とした。
- D. この時期にシク教が成立し、王朝の弾圧に抵抗した。

問11 出題ミスにより削除。 23 は解答不要

問12 下線部(1)の都市の場所を地図上のA～Lの記号で答えなさい。 24

問13 下線部(2)の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。 25

- A. ロシアとカルロヴィッツ条約を結び、アルメニアの大半を割譲した。
- B. 政府がイギリス商人にタバコの生産・販売に関する独占権を与えたことから、抗議運動が起こった。
- C. 改革運動の過程で、議会が設けられ憲法が制定された。
- D. シーア派の改革、男女平等、政治改革などを唱えたパーブ教が全国に広まった。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

16世紀の宗教改革はヨーロッパ各国でし烈な宗教戦争を引き起こした。そしてヨーロッパ各国はこれらの宗教戦争を通して政治と宗教を分離させ近代国家の道を歩むことになった。以下、16、17世紀のヨーロッパの足取りを見ていきたい。

フランスでは16世紀期後半、宗教内戦である  が激しくなり、1572年の約2万人のプロテスタントが虐殺された「サンバルテルミの虐殺」で頂点を迎えた。その後フランス王家がヴァロワ家からブルボン家に代わり、プロテスタントであったブルボン家のアンリ4世は1593年カトリックに改宗し、さらに1598年プロテスタントに信仰の自由を認める「ナントの勅令」<sup>(1)</sup>を発し、フランスの宗教戦争を政治的に解決した。

上述の「サンバルテルミの虐殺」の報に接し、これを祝う記念貨幣を発行したスペイン王フェリペ2世は「宗教裁判」<sup>(2)</sup>によるプロテスタント絶滅という苛烈な宗教政策を断行し、いわゆるスペイン絶対主義を確立した。ところがスペインは1557年、65年と2度にわたり経済破綻に陥った。そのためフェリペ2世は当時のヨーロッパ経済<sup>(3)</sup>の牽引役を果たしていた植民地ネーデルラントに重税を課し、さらに宗教弾圧を加えた。これに対してネーデルラントは反抗し、独立戦争を経て、ついにオランダ独立を勝ち取ることになる。

イギリスではフェリペ2世と結婚した熱烈なカトリック信者である  がプロテスタントを弾圧し、宗教的混乱を招いた。しかし、その後を襲ったエリザベス1世<sup>(4)</sup>がこれを收拾し、その後のイギリス隆盛の基礎を築いた。

神聖ローマ帝国では1555年の「アウクスブルクの宗教和議」<sup>(5)</sup>以後も宗教対立が収まらず、1608年に新教同盟、1609年に旧教連盟と、プロテスタント諸侯、カトリック諸侯それぞれの軍事同盟が成立し一触即発の状態にあった。そんななかボヘミアのプロテスタントがハプスブルク家の後の神聖ローマ皇帝  のプロテスタント弾圧に対し反乱を起こした。こうして始まった「ドイツ30年戦争」<sup>(6)</sup>は初期の宗教戦争の様相を変えていき、次第にフランス、スペイン、オランダ、デンマーク、スウェーデンそしてイギリスを巻き込んだ未曾有な国際戦争に

拡大し、1648年のウエストファリア条約でようやく終息した。

<sup>(7)</sup>ウエストファリア条約の後、ヨーロッパは中規模国家の競り合いという国際システムを生み出し、その競争エネルギーでもってアジア・アフリカ進出を加速させていったのである。<sup>(8)</sup>

問 1 空欄(ア)に入るもっとも適切な語句を一つ選びなさい。 26

- A. アルビジョワ十字軍                      B. フロンドの乱  
C. ユグノー戦争                              D. ジャックリーの乱

問 2 空欄(イ)に入るもっとも適切な語句を一つ選びなさい。 27

- A. メアリ 1世      B. メアリ 2世      C. ジェーン      D. アン

問 3 空欄(ウ)に入るもっとも適切な語句を一つ選びなさい。 28

- A. マクシミリアン 1世                      B. フリードリヒ 2世  
C. フェルディナント 2世                      D. ヨーゼフ 2世

問 4 下線部(1)に関する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

29

- A. これによりフランスの宗教的対立は完全に終息した。  
B. この勅令は個人の信仰の自由を認めたわけではない。  
C. リシュリユーは国家統一のためにこの勅令を遵守した。  
D. ルイ 14 世によるこの勅令の廃止はフランスの経済に打撃を与えた。

問 5 下線部(2)に関する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

30

- A. 宗教裁判所は 13 世紀前半に恒常的機関となった。
- B. スペインは宗教裁判をムーア人、ユダヤ人に対する宗教弾圧に利用した。
- C. 宗教改革後、ローマに新たに宗教裁判所が設置された。
- D. 宗教裁判所による魔女裁判はもっぱら反宗教改革のカトリック陣営で行われた。

問 6 下線部(3)に関する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

31

- A. ヨーロッパを中心とした「近代世界システム」が出現した。
- B. イギリスでは農業革命により近代的農業経営が確立した。
- C. ハンザ同盟による北海・バルト海貿易が隆盛を極めていた。
- D. 神聖ローマ帝国では東方植民が進み経済圏が拡大した。

問 7 下線部(4)に関する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

32

- A. 東インド会社はエリザベスによりインド貿易独占権が与えられた。
- B. エリザベスは独身を通じたためプランタジネット朝は断絶した。
- C. エリザベスの寵愛を受けた軍人ローリは後に反逆罪で処刑された。
- D. エリザベスは私拿捕船企業の最大の株主でもあった。

問 8 下線部(5)に関する記述として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

33

- A. シュマルカルデン戦争で敗れた皇帝カール5世は妥協の道を選んだ。
- B. すべてのプロテスタント信仰は認められたが、個人の信仰の自由は認められなかった。
- C. ルターは社会変革を目指した農民戦争を強く支持した。
- D. この宗教和議は領邦教会制の確立を促した。

問 9 下線部(6)の「ドイツ 30 年戦争」において史上最大の傭兵部隊を率いた傭兵隊長を一人選びなさい。

34

- A. グスタフ＝アドルフ
- B. イェルマーク
- C. ティリー
- D. ヴァレンシュタイン

問10 下線部(7)に関する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

35

- A. 神聖ローマ帝国では諸邦の主権が確立され、帝国は事実上解体された。
- B. フランスはアルザス・ロレーヌ地方の一部を獲得した。
- C. 政教分離が徹底され個人の信仰の自由が認められた。
- D. スウェーデンがバルト海の制海権を手に入れた。

問11 下線部(7)のウェストファリア条約が結ばれた都市名の組み合わせとして、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

36

- A. アーヘンとミュンスター
- B. アウクスブルクとオスナブリュック
- C. ミュンスターとオスナブリュック
- D. アーヘンとアウクスブルク

問12 下線部(8)に関する記述としてもっとも適切なものを一つ選びなさい。

37

- A. シク戦争のイギリスの勝利によりインドのムガル帝国は崩壊した。
- B. 1878年「公正な仲介人」の役を買って出たビスマルクはベルリン会議でアフリカ分割を進めた。
- C. 1882年ウラービーの反乱を鎮圧したイギリスはエジプトを支配下に置いた。
- D. 1898年スーダンのファショダでフランスとドイツの帝国主義の衝突事件が起きた。



〔IV〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

これまで人類は交易活動や働く場所を求めるといった経済的動機のみならず、異文化に触れる、知識を習得する、また宗教を広めるなどの経済以外の目的でも海や大陸を越えて移動した。こうした際、古くには人々は季節ごとに吹く風を利用して移動していた。例えば、インド洋ではこの季節風を利用して交易活動が1～2世紀頃に盛んに行われた。さらにインド洋海域貿易としては、8世紀以降ムスリム商人達がペルシア湾の港を拠点として活躍した。彼らは (ア) に乗り、東南アジア世界を経由して、東と西の2つの世界を結んだ。

(3) このような交易活動だけではなく、人々は知識や文化を獲得するために国を越えて移動した。例えば、中国からは仏教研究のために、陸路や海路を利用してインドへ向かった僧侶たちがいる。代表的な人物をあげれば (イ) 時代には法顕が、またその後7世紀には玄奘がインドに渡った。この他にも20年あまりにわたって仏跡をまわった義浄がいる。彼らがまとめた書物は、中国人の手による東南アジアやインドに関する貴重な記録として、当時の様子を今日まで伝えている。

中国大陸からの海外渡航という点で大きな足跡を残したのが明時代の (ウ) による大遠征である。彼の遠征は東南アジアばかりではなく、アラビア半島にまで及び、また艦隊の一部は東アフリカにまで到達し、周辺諸国にも大きな影響を与えた。一方、移動距離や移動空間の広さという点においてはムスリムの旅行家イブン=バットゥータをあげる必要がある。モロッコ生まれの彼は、アフリカ、南アジア、さらには東アジアまで旅をし、インドでは当時のスルタンに長年にわたり仕えた。

15世紀以降のいわゆる「大航海時代」には、ポルトガル・スペインを先頭にして、オランダ、イギリスなどが相次いでアジアに乗り出してきた。その進出形態や目的は多様であるが、彼らが求めたモノはアジアの特産品であった。東南アジア世界ではポルトガル、オランダ、イギリスが争ったものの、アメリカ大陸へはスペインが16世紀にはいると進出を本格化させた。ラテンアメリカで進んだ植民地化の下では、大規模農園による労働力の必要性からアフリカから奴隷の輸入

が続いた。この結果、白人、先住民、黒人などの中での混血化が進んだ。その一つである白人と黒人の混血は (エ) と呼ばれた。

また、オランダなどヨーロッパ勢力は当初、東南アジアの各地に商館や要塞などを建設した後に、東アジアに進出した。日本もまた東南アジア進出の延長としてヨーロッパ諸国との交流が活発化した。国内ではポルトガル船が1550年に来航した (オ) を中心に、ヨーロッパの4カ国と交流が行われた。

東南アジアに拠点を築いたヨーロッパ各国は、次第にその内陸部へと支配を拡大した。この結果、オランダは現在のインドネシアを、またイギリスは現在のミャンマー、シンガポール、マレーシアなどを、またフランスはカンボジア、ベトナム、ラオスを植民地支配した。植民地経済活動は主に、世界市場向けの商品作物や鉱物資源の輸出であったことから、多くの労働力を必要としたため、中国大陸から大量の人々が東南アジアなど海外に働く場所を求めて流出した。

問1 空欄(ア)に入るもっとも適切な船の名称を一つ選びなさい。 38

- A. ジャンク船    B. ダウ船    C. ガレオン船    D. カラック船

問2 空欄(イ)に入るもっとも適切な語句を一つ選びなさい。 39

- A. 隋    B. 東晋    C. 西晋    D. 梁

問3 空欄(ウ)に入るもっとも適切な人名を一つ選びなさい。 40

- A. 鄭成功    B. 朱元璋    C. 李自成    D. 鄭和

問4 空欄(エ)に入るもっとも適切な語句を一つ選びなさい。 41

- A. インディオ    B. メステイーン  
C. ムラート    D. クリオーリョ

問5 空欄(オ)に入るもっとも適切な地名を一つ選びなさい。 42

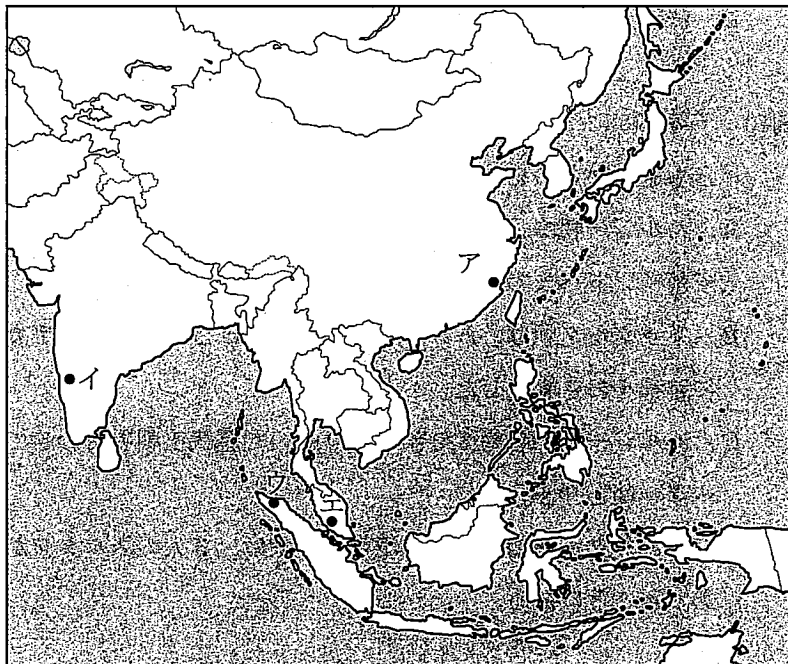
- A. 博多    B. 長崎    C. 平戸    D. 堺

問 6 下線部(1)について、インド洋の北半球における季節風の動きに関する説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 43

- A. 夏期に南西へ向かって吹く。
- B. 冬期に南西へ向かって吹く。
- C. 夏期に南東へ向かって吹く。
- D. 冬期に南東へ向かって吹く。

問 7 下線部(2)について、下記のA～Dのそれぞれの文章は、白地図中にあるムスリム商人の活動の中心となった場所の説明文である。ア～エの場所に関する説明文として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 44

- A. 唐末に起きた黄巢の乱による混乱でムスリム商人はそれまで居留地であった「ア」を撤退した。
- B. 「イ」は、東南アジア向けの綿織物の輸出港の一つであり、1498年には、ポルトガルのヴァスコ＝ダ＝ガマが到着した。
- C. 「ウ」では胡椒、ニクズク、丁字など香辛料が栽培され、ムスリム商人の集積地になっていた。
- D. 中国からの絹、インド産の綿などが取引され、16世紀初頭にポルトガルは「エ」を占拠した。



問 8 下線部(3)について、東南アジアの港市国家の説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 45

- A. バンテン王国は胡椒貿易で繁栄したが、香辛料を求めて東南アジアに進出してきたポルトガルによって滅ぼされた。
- B. オケオを都とした林邑王国は、中国に隣接していたことから香木や象牙などを中心とした貿易活動によって繁栄した。
- C. ジャワ島では、13世紀末に元王朝による遠征を受けたものの、最終的には元軍を撃退し、その指導者によりマジャパイト王国が成立した。
- D. ラーマ1世によって打ち立てられたアユタヤ王朝は17世紀には最大の領土を獲得し、周辺諸国とも盛んに貿易活動を行った。

問 9 下線部(4)について、これらの僧侶と彼らがまとめた書物の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。 46

- A. 法顕『大唐西域記』：玄奘『西遊記』：義浄『仏国記』
- B. 法顕『仏国記』：玄奘『大唐西域求法高僧伝』：義浄『大唐西域記』
- C. 法顕『大唐西域記』：玄奘『仏国記』：義浄『南海寄帰内法伝』
- D. 法顕『仏国記』：玄奘『大唐西域記』：義浄『南海寄帰内法伝』

問10 下線部(5)について、13世紀から14世紀のインドに関する説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 47

- A. ハルジー朝は、ゴール朝の奴隷軍人であったアラー＝ウッディーンの下で南インドへまで版図を広げた。
- B. トゥグルク朝は、ムガル朝によって滅ぼされるまで、デカン高原の都市に首都をおき繁栄した。
- C. ハルジー朝から約320年あまり続いた歴代王朝をあわせてベンガル＝スルタン朝と呼ぶ。
- D. アイバクが建国した奴隷王朝の由来は、3人のスルタンがマムルークであったことにある。

問11 下線部(6)について、ヨーロッパ諸国の東南アジア進出に関する説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 48

- A. オランダの連合東インド会社は東インドにおける貿易の独占権の他、要塞や商館の建設許可権、貨幣の鑄造権などの特権を政府によって与えられた。
- B. イギリスはジャワ島でおきた商館襲撃事件をきっかけにして、17世紀前半にいったん東南アジア島嶼部から勢力を撤退することになった。
- C. ポルトガルはローマ教皇の仲介によってスペインとの間でトルデシリャス条約を締結し、モルッカ諸島を獲得した。
- D. マゼラン(マガリャンイス)は喜望峰回りで、フィリピン諸島に到達したが、彼の死後、その部下たちはマゼラン海峡を通り、世界周航を成し遂げた。

問12 下線部(7)について、ヨーロッパ諸国のアジアにおける植民地支配に関する説明として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。 49

- A. タイはボウリング条約をきっかけにしてフランスによる植民地支配を受けた。
- B. イギリスは3回に及ぶビルマ戦争によりビルマを併合した後に、さらに東アジアに進出するためシンガポール島を手に入れた。
- C. オランダはスマトラ島においてサトウキビ、コーヒー、藍、天然ゴムなどの強制裁培を行った。
- D. アメリカはスペインとの戦争の後に、フィリピン革命軍を破り、フィリピンを植民地にした。

問13 下線部(8)の説明文として、もっとも適切なものを一つ選びなさい。

50

- A. アロー戦争に敗れた清では、その後、洪秀全が率いる太平天国の乱などによって国内が混乱し、多くの人々が海外に流出した。
- B. アメリカ大陸の北部と南部を結ぶ大陸横断鉄道建設に、「クーリー」と呼ばれる移民労働者が数多く従事した。
- C. 孫文は海外在住の中国人からの支持を受け、1894年にハワイで光復会を結成し、翌年武装蜂起を行った。
- D. 主に広東、福建から多くの中国人が東南アジアに渡り、イギリス支配下のマレー半島では、主に鉱山労働者として働いた。